

Photo ふなばし



西安市の第八十五中学校の皆さんが、市立船橋高校に一日体験入学。昼食後のひととき、ニコリと記念撮影

船橋市・西安市友好学校調印
21世紀に大きく咲かせよう友情の花

MOVE 大震災発生！市民の生命を守れ
震災対策 救命・救急訓練

とくしゅう
PART2

人にやさしく、まちにやさしい
緑豊かなまちづくり

- 市政トピックス
- 街角ホットニュース
- サークル通信 ●ズームアップ
- WE ARE IN FUNABASHI
- まちなかの文化財／ふなばしの民話
- ペットインタビュー



草花を買い求める人でにぎわった“グリーン・ミニ・バザール”

vol. **67**

広報ふなばし写真版

MOVE

大震災発生！市民の生命を守れ 震災対策救命・救急訓練

死者約5,500人、負傷者約3万7,000人という甚大な被害を出した阪神・淡路大震災。

これを教訓として、船橋市では全国に先駆けて、様々なアイデアを盛り込んだ震災対策に取り組んでいます。

その一つとして、5月28日、運動公園や医療センターなどを訓練会場に、震災対策救命・救急訓練を実施しました。

この訓練は、千葉県北部を震源とする直下型地震の発生を想定したもので、人命を最優先に、関係機関が連携して傷病者や医薬品の搬送、情報収集などを行うというものです。

市や消防局、医療センターのほか、陸上自衛隊第一空挺団、船橋警察署、船橋市医師会、船橋市消防団が参加。自衛隊ヘリコプターによる傷病者の搬送、市医師会などによる応急救護所の設置と重傷病者の選別、救急車による重傷病者の搬送、医療機関・避難所への医薬品の搬送、警察による緊急輸送路の確保、ヘリコプター・ミニバイク隊による情報の収集など、今までにない、より実践的な訓練が展開されました。



災害対策本部が設置され、本部長の大橋和夫市長に、第一空挺団から被害状況が報告されました

各地域の医療機関にも被害が発生し、広域避難所での医療機関自衛隊のヘリコプター出動を要請。運動公園のヘリポートまで

確保が困難となり、重傷病者を医療センターに収容するため重傷患者を搬送しました



傷病者の程度を選別して、応急救護所に収容。市医師会、医療センター



道路交通網が寸断された場合に、情報収集や医薬品の搬送などで威力を発揮するミニバイク隊



応急救護所の重傷病者を、ドクターカーで医療センターに搬送



市内の医療機関で、傷病者が収容しきれなくなった場合、自衛隊のヘリコプターを要請して、圏外の医療機関に傷病者を搬送します

